

軽快な舞で奏でる神楽の調べ

五穀豊穡と無病息災を願う

徳山神楽

秋の夜長に優雅な舞

〜つなぐ神楽のお囃子〜

10月8日(日)、安倍川・大井川に伝承される「駿河神楽」の一つで、県指定無形民俗文化財の「徳山神楽」が徳山神社で奉納されました。江戸時代から代々氏子によって伝えられてきた徳山神楽は、五穀豊穡と無病息災を祈願して毎年奉納されています。令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や規模の縮小が続きましたが、今年は4年ぶりに従来通りの開催が実現しました。

この日、舞を披露したのは、小中学生女子12名と成人伝承者11名で、9月中旬からの約1ヶ月間、計10回にわたる練習が行われてきました。

徳山コミュニティ防災センターで出立式を執り行い、神社までの道行きは雨のため中止となりました。神社に移動後、16時から始まった神事の中で奉納された「神前の舞(全ての神楽の基本となる舞で、御幣と鈴を持ち、東西南北、中央の五方を浄める)」を皮切りに芸能が始まりました。

芸能は、小中学生女子による「四座の舞」「天王の舞」「五躰龍の舞」「八王子の舞」のほか、成人男性が燃える松明を両手に持って勇壮に舞う「火の舞」など、15の演目が披露され、多くの報道陣や見物客が優雅な舞に魅了されました。

広報かわねほんちゅう 令和5年12月号

発行：川根本町 編集：デジタル推進課 デジタル推進部
住所：〒428-0013 静岡県榛原郡川根本町上馬場のつな
Round 50 center 広報かわねほんちゅう用紙を使用しています。

広報かわねほんちゅうのみなさんへおたのしみをお待ちしています。
町に関する「広報」関係の「つな」へお問い合わせください。
FAX (5) 22222 後援：デジタル推進課 デジタル推進部のDANKU